

●つばきこども園 いっぱい遊ぼう！ 笑顔ひろがる つばきっず



157人の園児がかかわりあいながら、のびのびと遊んでいます。保育教諭は園児一人ひとりのありのままの姿を受け止めることや、優しく温かくかかわることを重点に置き、子どもと一緒に遊び楽しさや喜び、悔しさ、驚きなどを共有することを大切にしています。心が動かされるような環境構成の工夫、自然豊かな地域での体験活動の中で0歳児～5歳児までが共に育ち合い、笑顔あふれるつばきこども園をめざしています。

●かえでこども園 異年齢でのかかわりから互いに育ち合う子どもをめざして

自分の興味のあることを知りたい、見たい、伝えたいという思いから、異年齢とのかかわりをたくさんもてるようにしています。異年齢でのかかわりの中で自然と声をかけたり気が付いてあげられたりする優しい姿を大切に、一人ひとりを認めることで、子どもたちの心の安定や自信へとつながっています。また、異年齢のかかわりが刺激となり、いろいろなことに挑戦や応援する姿も見られ、お互いに育ち合っています。



●のだがわこども園 心動かされる環境の中でいっぱい遊ぶ子どもをめざして



幼児期は、自分で興味や関心を持って頭も心も体も動かし、身近な人や友達とかかわり夢中になって遊ぶことが大切です。子どもたちは好きな遊びを楽しみながら、工夫したり試行錯誤したり、新たな発見をしたりします。それらはすべて学びにつながる体験です。園では心動かされる環境をとおして、豊かな遊びと豊かな学びを大切に、子どもの主体性を大切にする保育を心がけます。

2 園小中連携の取り組みについて

与謝野町では、子どもたちがふるさとに誇りと愛着をもち、地域のために考え行動しようとする意欲が高められるよう、地域の教材から学ぶ「ふるさと学習」を進めています。「総合的な学習の時間」や「社会科」の学習では、一人ひとりの生活の舞台であるふるさとが、多くの自然や文化、人材などに恵まれていることに気付かせ、直接触れ合ったり体験的に学んだりすることを大切にしています。さらに、ふるさとを多面的に捉え、郷土が抱える課題や未来に向けて自分たちができることなど、課題を明確にして学習に取り組むことにより、よりよく問題を解決する力や学んだ知識や技能を学習や生活のさまざまな場面で生かしていく力を、それぞ

れの発達段階に合わせて伸ばしています。

令和5年4月に行われた全国学力・学習状況調査において質問調査の「地域の行事に参加しているか」という問いで、「している」という回答が小・中学校とも全国平均を大きく上回りました。子どもたちが地域とつながっているという意識を強くもっているよさを生かし、さらに地域に根差した教材の開発や課題解決型の学習の充実を進めていきます。

今後とも、学校と地域が連携・協働しながら与謝野町の未来を担う子どもたちの豊かな成長を実現できる「地域とともにある学校」づくりをめざします。



●岩滝小学校 意欲を高め、自分の考えや思いを伝え合い、学び合おうとする児童の育成

令和4年度に引き続き算数科を重点教科として、子どもたちが自分の考えや思いを伝え合い、学び合う楽しさを感じながら課題解決していく授業の研究を進めています。学習の土台となる学びに向かう力を付けたり、児童同士のつながりを育んだりする学級集団づくりについても大切にしています。児童が学習課題を自分ごととして捉え、互いに自分の意見や考えを相手に伝えるように表現できる力の育成をめざしています。



●三河内小学校 気づきを行動につなげ、生き生きと学び続けるみごちっこ



健康で安全な生活に目を向け、振り返りや気づきを生かして課題を発見することを大切にしています。また、課題解決に向けての具体的な行動について、友達との対話をとおして「意思決定」し、解決に向けて継続的に取り組めるよう意識を高めています。週1回の「みごちっこタイム」では、手洗いチャレンジや熱中症予防チャレンジなど、心身の健康の保持増進や安全安心な生活を送るための実践を重ねています。

●市場小学校 つながりを深め、主体的に学び、たくましく生きる子どもたちを

児童会や委員会活動の中で、子どもたちの「つながり」を意識した遊びや取り組みを自分たちで企画・運営しています。授業では「子ども主語」を合い言葉に、主体的に学びを深める授業を重点的に取り組んでいるところです。自分の気持ちを表現したり、相手に伝えるように言葉にしたりできるような力としなやかで折れないたくましい心を育てていきます。



●山田小学校 にここ集會



委員会活動の取り組みの一つとして、「にここ集會」を月に一度行っています。保健体育委員会は「健康フェスティバル」、図書委員会は「みんなの100階だての家」、放送委員会は「山田小のいいところ紹介と学年クイズ」、給食委員会は「食べ物に関するすごろく」など、どの委員会も趣向を凝らした内容で、子どもたちが楽しくコミュニケーションをとることができ、つながりが深まる取り組みになっています。

●石川小学校 自分の考えをもち、主体的に学びに向かう子どもの育成

授業の中で、ペアやグループでの話し合いの場を積極的に取り入れ、お互いの考えを交流する活動を大切にしています。そして、学習課題に対して、自分で考えて、書いて、話す活動をとおして、「主体的に」「自分から」「自分で」できる児童の育成をめざしています。子どもたちは安心して自分の考えや思いを出し合い、話すこと、学ぶことを楽しんでいます。

